

令和6年度 学校関係者評価結果書

社会福祉法人高砂福祉会
たかさご SCHOOL おおたかの森

学校関係者評価委員会を開催し、会において学校評価計画書兼評価表をもとに、評価委員との意見交換を行いました。

1. 目的

教育関係者や保護者等の学校関係者による評価を行い、その結果を通じて施設や家庭等が園の状況と課題について共通理解を深め、相互の連携を促し、園運営の改善への協力を促進することを目的として行う。

2. 日時

令和7年2月5日(水)9:30 - 11:30

3. 学校関係者評価委員

私立小学校 校長	公立小学校 校長	保護者代表
私立小学校 校長補佐	教育関係者	計5名

4. 評価の実施

学校関係者は、各項目について4段階の基準で評価し、複数の評価を平均したものを最終の評価とした。

5. 教育・保育目標

- (1) 丈夫な体をもち、思いきり遊べる子どもになろう
- (2) 友達の中にいることを喜び、友達の事も考え、一緒に行動できる子どもになろう
- (3) 自分の事は自分でできる子どもになろう
- (4) 自分で物を作り出し、力一杯自分を表現できる子どもになろう
- (5) よく見て、よく聞いて、よく考える子どもになろう

6. 今年度の重点目標

笑顔と個性が輝くイキイキと生きる子

~個の主体性を活かす教育環境や援助の在り方を考える~

7. 取組状況や達成の評価

取組状況等	評価
(1) 保育の全体的な計画	
幼児が意欲的に活動する教育内容の充実 ・ 幼児が自分で考え、選び、行動する事を援助する ・ 幼児の育ちや課題を共有し、個々に応じた支援や環境の工夫をする	A
(2) 保護者と連携	
保護者への積極的な情報発信の工夫 ・ 登降園時等に園での様子を伝える ・ お便りや掲示板、SNS を活用して園の取組み、幼児の育ち等を伝え、教育への理解を図る	A
(3) 幼保小連携	
学びの連続性を取り入れた幼保小連携の充実 ・ 幼保小での交流活動をする ・ 小学校への接続について、職員同士が園児について話す機会を設ける。	A
総合的な評価結果	
学校評価の具体的な目標や計画	A

A 十分達成されている B 達成されている C 成果が十分でない D 取組が不十分

8. 今後取り組むべき課題・意見等

- ・ 未来の子ども達の為に、様々な教育プログラムを導入されていることが素晴らしいかったです。少子化の時代にこのような園が残っていくのだと改めて感じました。
- ・ 礼儀正しさ、挨拶を大切にされながら子どもたちがいきいきと学ばれているのがよくわかりました。
- ・ 小学校に馴染めない、不登校ぎみになってしまった卒園児に「帰る場所」をつくるという取り組み、学童支援は良いプログラムで、心のサポートとして素晴らしいと感じます。
- ・ 運動能力の高い子どもが多く、個性を伸ばしていこうという先生方の思いが伝わりました。
- ・ 園の衛生管理が徹底されていて、避難訓練等の安全面も誰が見てもわかるように掲示されていて工夫を感じました。
- ・ 保育者はもちろん、様々な外部機関や関係機関との関わりをととても大切にされている点が素晴らしいと思います。
- ・ 今後も工夫して引き続き充実させてください。